

定 格

一 般

電 源 : AC100V、50/60Hz
消費電力 : 16W

□は安全項目です。

方式 : VHS規格
テープ速度 : 33.35mm/sec(2Hモード)
 11.12mm/sec(6Hモード)
使用テープ : VHSテープ
再生時間 : 120分(2Hモード、NV-T120使用時)
早送り/巻戻し時間 : 3分以内(2Hモード、NV-T120使用時)
許容周囲温度 : 5°C~40°C
許容相対湿度 : 35%~80%
重 量 : 4.8kg
外形寸法 : 270(幅)×120(高さ)×344.5(奥行き)mm

映像系

テレビジョン方式 : NTSCテレビジョン方式、525本、60フィールド
変調方式 : 輝度信号;周波数変調
 色 信 号;低域変換 $\pi/2$ 位相
入力/出力 : ライン(BNC) 1.0Vp-p、75 Ω
水平解像度 : 240本(カラー)
S/N : 45dB(カラー、2Hモード時)

音声系

入 力 : ライン(ピンジャック);-8dBv、47k Ω
出 力 : ライン(ピンジャック);-8dBv、1k Ω (1Vrms=0dB)
トラック数 : 3トラック(NORM音声;1トラック、Hi-Fi音声;2トラック)
Hi-Fiサウンド特性 : 周波数特性 : 20Hz~20kHz
 ダイナミックレンジ : 90dB
ノーマル音声 : 周波数特性 : 50Hz~10kHz(2Hモード時)
 S/N : 43dB以上(2Hモード時)
リモコン : M2ジャック(前面)/ピンジャック(後面)

松下電器産業株式会社 AVC社 システム事業グループ

☎571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

5-15-6
Panasonic

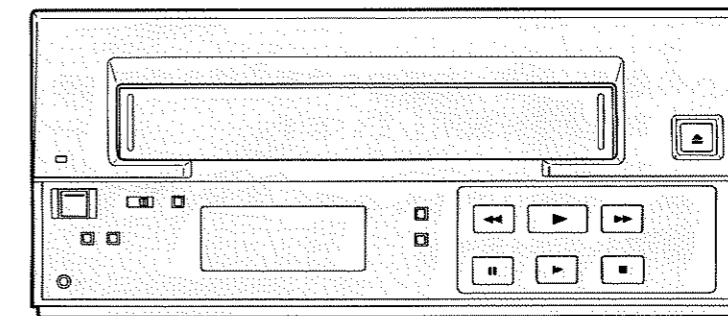
Hi-Fi 業務用ビデオ

品番 AG-5160

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

VHS



保証書別添

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

このビデオはVHS方式ビデオです。VHSマークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

上手に使うって上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

このたびはパナソニックビデオAG-5160をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございました。

目次

安全上のご注意	2	シリーズ再生	14
特長	7	シリアルリモートコントロール	15
システム概要	7	リモートコントローラ	16
各部の名称	8	タイマー録画/再生	16
モニターテレビとの接続	10	V-LOCK(垂直同期)調整	16
再生	11	使用上および保管上のお願い	17
自動再生/自動巻戻し	12	故障かな!?と思われましたら	18
カウンタ部	12	アフターサービスについて	19
リピート再生	13	定 格	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください。

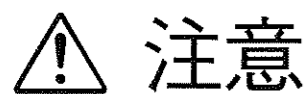
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、
必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を
次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」
内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生
する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意

必ずお守りください。



警告

設置について

■不安定な場所に置かない!



禁止

落ちたり、倒れたりし
て、けがの原因とな
ります。

■電源コード上に重い物を
乗せない!



禁止

本機の下敷にならない
よう注意してください。
コードが傷ついて、
火災・感電をおこすお
それがあります。

■水場に設置しない!



水場使用禁止

火災・感電の原因とな
ります。

異常時の処理について

■本機を落としたり、破損した
場合は電源スイッチを切り、
電源プラグを抜く!



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、
火災・感電をおこす
おそれがあります。

■本機の内部に水などが入っ
た場合は、電源スイッチを
切り、電源プラグを抜く!



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、
火災・感電をおこす
おそれがあります。

■本機の内部に異物が入った
場合は、電源スイッチを切り、
電源プラグを抜く!



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、
感電・事故をおこす
おそれがあります。
●お買い上げの販売店に
ご相談ください。

■煙が出ている、変な
においや音がする等の
異常状態の場合は、
電源スイッチを切り、
電源プラグを抜く!



電源プラグ
を抜く

火災・感電の原因とな
ります。
●お買い上げの販売店に
修理をご依頼ください。

■電源コードが傷んだ場合は、
交換を依頼する!











そのまま使用すると、
火災・感電をおこす
おそれがあります。
●お買い上げの販売店に
修理をご依頼ください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

警告

使用方法について








<p>■電源コードを</p> <ul style="list-style-type: none"> •加工しない! •傷つけない! •無理に曲げない! •ねじらない! •引っ張らない! •加熱しない! <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>■機器がぬれたり、水が入らないようにする!</p> <p> 火災・感電をおこすおそれがあります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。</p> <p>禁止</p>	<p>■表示された電源電圧以外は使用しない!</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない!</p> <p> こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない!</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>■本機を改造しない!</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>
<p>■水場で使用しない!</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>■本機の裏フタ・キャビネット・カバー等はずさない!</p> <p> 感電の原因となります。 •点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</p> <p>分解禁止</p>	

安全上のご注意






必ずお守りください。

注意

設置について

<p>■電源コードを熱器具に近づけない!</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>■油煙や湯気が当たる場所に置かない!</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>■湿気やほこりの多い場所に置かない!</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>■ぬれた手でプラグを抜き差ししない!</p> <p> 感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>■プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない!</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>禁止</p>	<p>■本機の通風孔をふさがない!</p> <p> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。 •本機を風通しの悪い所に押し込む。 •テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。</p> <p>禁止</p>
<p>■電源コードを下にたらしさない!</p> <p> ふれたり、引っ掛けたりすると、落ちてけがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p>		

使用方法について

<p>■本機の上に重い物を置かない!</p> <p> バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>■本機に乗らない!</p> <p> 倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>■カセットテープ挿入口に手をはさまれないよう注意する!</p> <p> 手をはさまれ、けがの原因となります。</p> <p>指に注意</p>
<p>■長期間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く!</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>■移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードをはずす!</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 •ビデオカセットは、取り出しておいてください。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	

安全上のご注意

必ずお守りください。

お手入れについて

注意

■お手入れの際は安全のため、スイッチを切り、電源プラグを抜く！



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■1年に1度くらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

別売品

●リモートコントローラ AG-A11

●ビデオカセットテープ

本機にはVHSの規格にあったテープをお使いください。

再生には、パナソニックビデオテープのご使用をおすすめします。

●NV-T120

●NV-T60

●NV-T90

●NV-T30

特長

VHSモードの再生

2、6時間(VHSの標準モードと3倍モード)の再生ができます。

Hi-Fi音声

小型、コンパクトで持ち運びに便利

リピート再生

次の要領で録画済テープのリピート再生が行なえます。

- テープ始端からテープ終端の間
- テープ始端から映像信号の終端の間*

*映像信号の終端がなければ、自動的にテープの始端と終端の間の再生になります。

早送り再生/巻戻し再生

再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押している間、通常再生の9倍のスピード(標準モード)、11倍のスピード(3倍モード)で再生します。

電源が「切」の場合でもカセットテープの出し入れ可能。

オートパワーON

電源コード差し込み時およびカセットテープ挿入時には、電源が自動的に「入」になります。

鮮明な静止画像

4ヘッド搭載で、鮮明な静止画再生を見ることができます。

オートトラッキング

トラッキングボタンの「-」と「+」を同時に押すことにより、トラッキングを自動的に調整することができます。

外部タイマー再生

外部タイマーを使えばタイマー再生ができます。

自動再生/自動巻戻し

本機にカセットテープを入れると、自動的に再生または巻戻しが始まります。

シリーズ再生

2台のVTR間でリピート再生ができます。

リモートコントロール

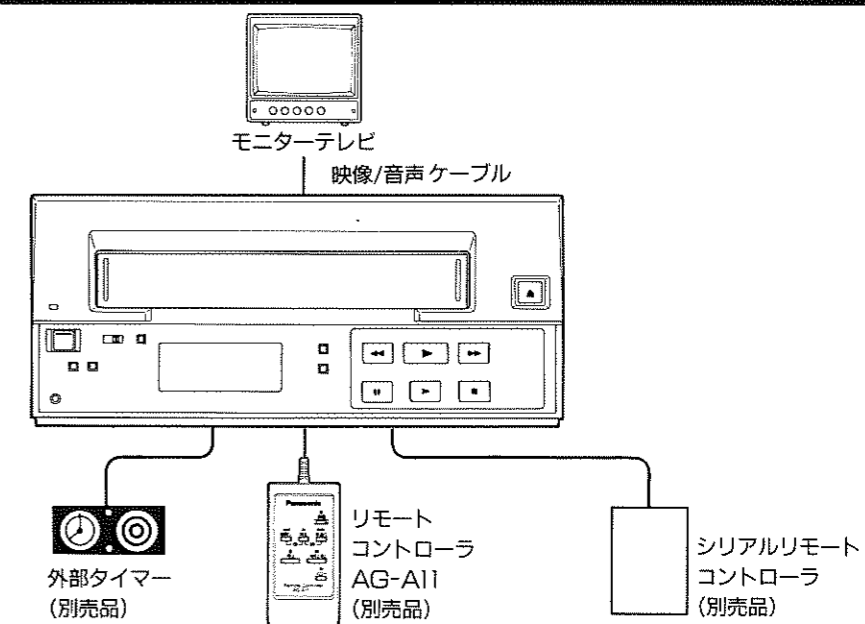
リモートコントローラAG-A11(別売品)を接続すると約5m離れた所から本機を操作することができます。

シリアルリモートコントロール

本機にシリアルリモートコントローラを接続しますと再生などの操作ができます。

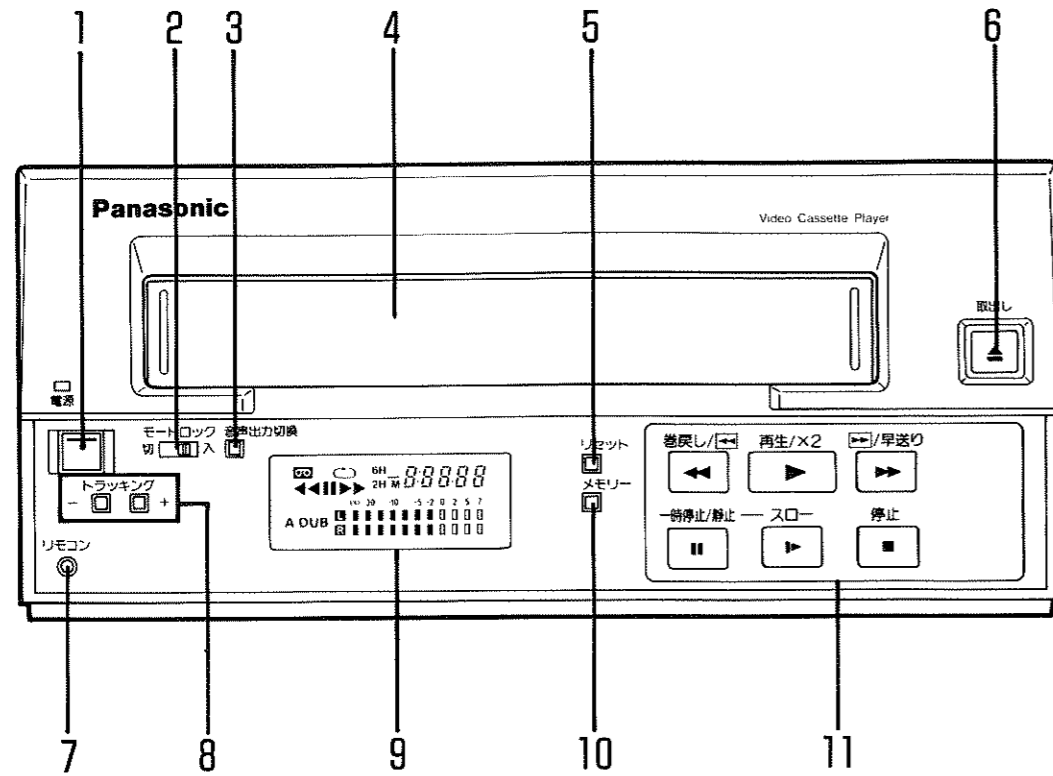
S-VHSの簡易再生が可能

システム概要



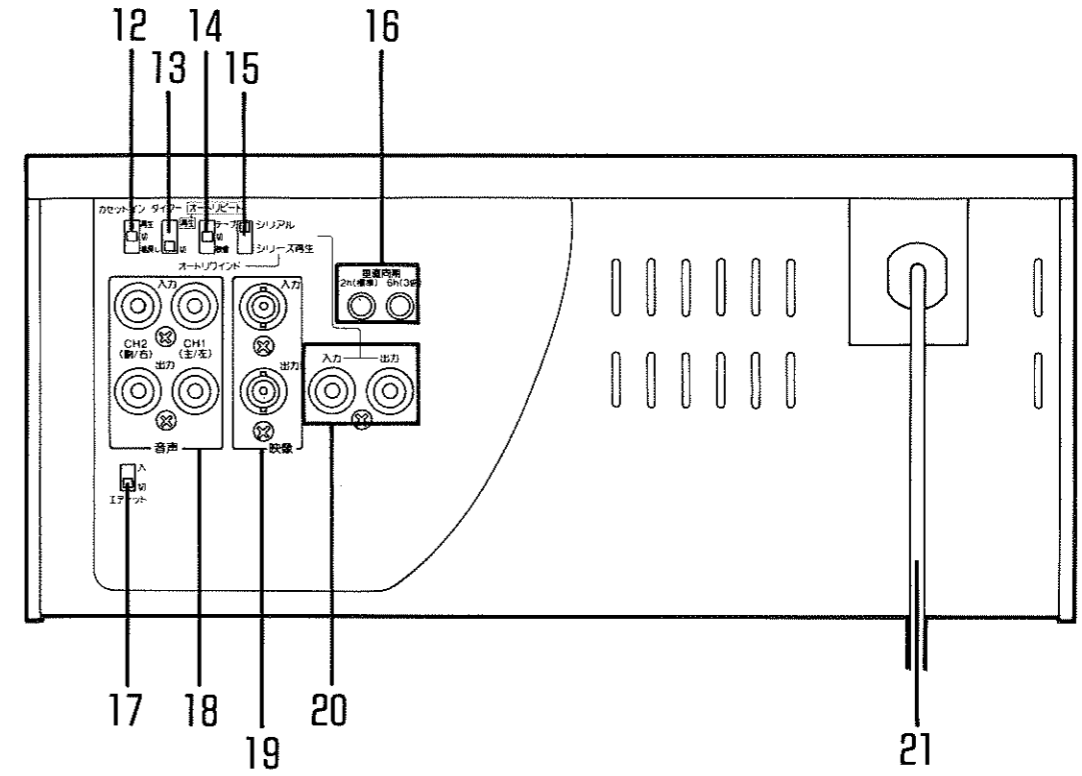
各部の名称

前面



番号	名称	ページ	番号	名称	ページ
1	電源スイッチ	—	8	トラッキング調整ボタン	11~12
2	モードロックスイッチ	11	9	カウンタ/音声レベルメータ	11~12
3	音声出力切換ボタン	12	10	メモリーボタン	12
4	テープ挿入口	—	11	操作ボタン 巻戻し、再生、早送り、一時停止/静止、 スロー、停止	11~14
5	リセットボタン	12			
6	取出しボタン	—			
7	リモコン端子(M2)	16			

後面



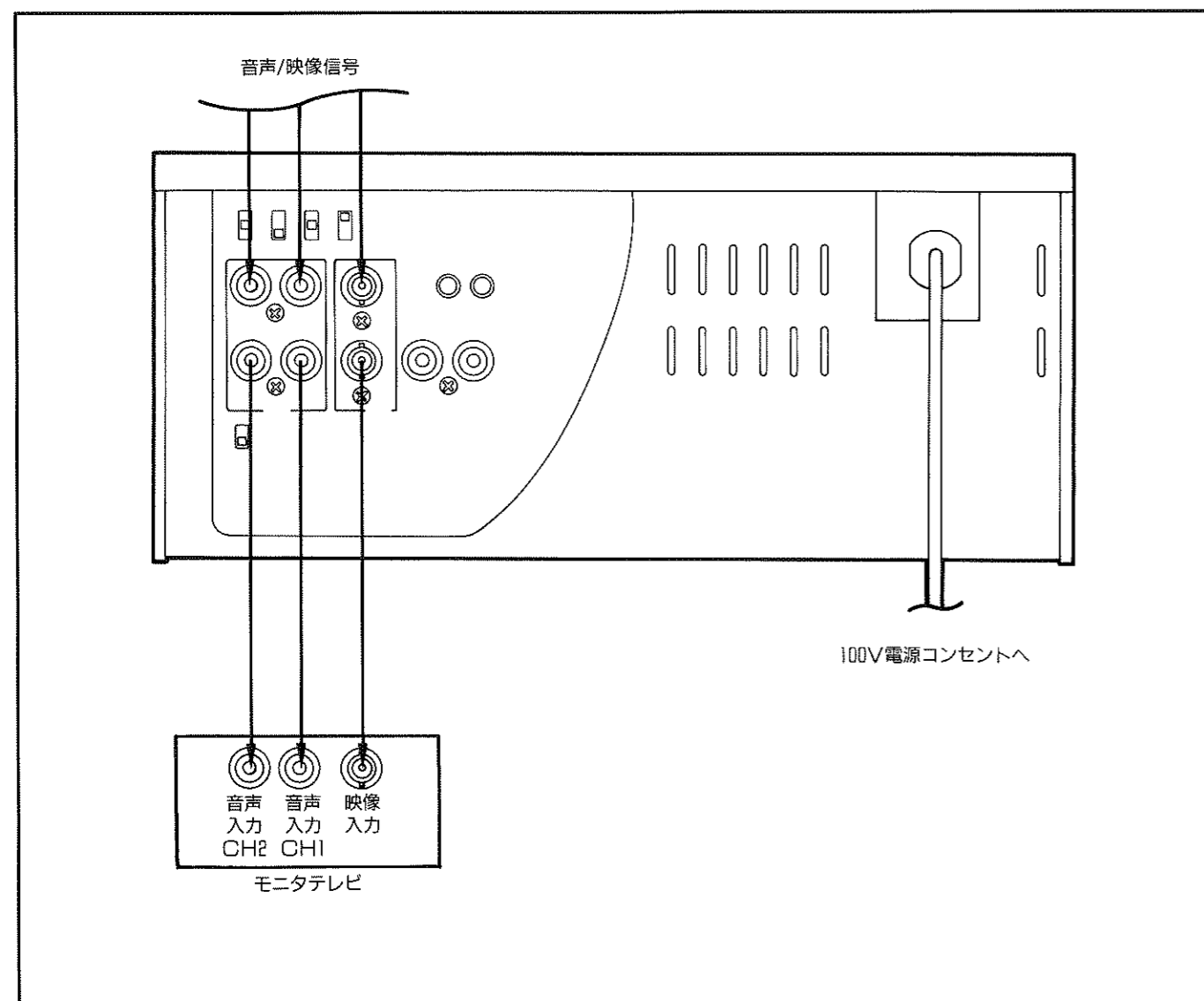
番号	名称	ページ	番号	名称	ページ
12	カセットインスイッチ	11、12、15	17	エディットスイッチ	9
13	タイマースイッチ	11、13、14、 15、16	18	音声CH1/CH2入力/出力端子 (ピンジャック)	10、14、15
14	オートリピート/オートリワインドスイッチ	13、14	19	映像入力/出力端子(BNC)	10、14、15
15	シリアル/シリーズ再生切換スイッチ	14、15	20	リモート入力/出力端子 (ピンジャック)	14、15
16	垂直同期調整ボリューム	16	21	電源コード	—

エディットスイッチについて

本機を再生機として使用し、AG-5260を録画機として使用すればダビングが行えます。このエディットスイッチはダビング時、画質の劣化を最小限におさえるためのスイッチです。

- ダビング時は「入」で使用します。
ダビング終了後は必ず「切」に戻してください。

モニターテレビとの接続



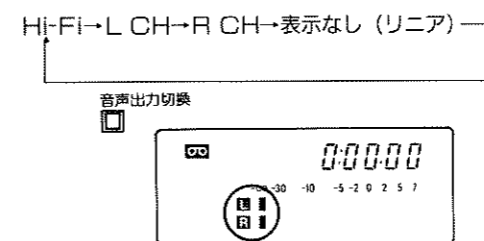
再生

準備

- 本機の次のスイッチを「切」にします。
 - ・カセットインスイッチ
 - ・モードロックスイッチ
 - ・タイマースイッチ
- 録画済テープを入れます。

音声モニタ出力切換

音声出力切換ボタンで希望する音声に切換えます。音声出力の各端子から出力される音声は切換わります。本機の電源を入れると、自動的にHi-Fiモードとなります。音声出力切換ボタンを押すごとに音声出力モードが次のように切換わります。



テープスピード

テープスピードは自動的に記録されたスピードになりますので、テープスピードを切換える必要はありません。

- 標準モードの録画済テープを再生するときはVHS規格により互換が保証されておりますが、3倍モードの録画済テープの場合は、安定した再生画像が得られないことがあります。

再生

再生ボタンを押します。再生中はカウンタに“▶”が表示されます。本機はデジタルオートトラッキング機能を搭載しているため、トラッキング調整は通常必要ありません。ただし、下図のように部分的にノイズが出る場合は、前面パネルのトラッキング調整ボタンの「-」と「+」ボタンを同時に押してください。それでもノイズが出る場合は、「-」または「+」ボタンで調整してください。



倍速再生

再生中に再生ボタンを押します。倍速による再生画が得られます。通常再生に戻る場合は、再度再生ボタンを押します。

- 倍速再生中には音声は聞こえません。

スローモーション再生

再生中にスローボタンを押します。スローボタンを押すごとに下記のようなスローモーションスピードになります。再生ボタンを押すと通常の再生になります。

通常再生 → 1/30 → 1/20 → 1/15 → 1/10 → 1/6

- スローモーション再生が約10分以上続くと、本機は停止状態になります。
- スローモーション再生中には音声は聞こえません。

早送り再生/巻戻し再生

再生やスローモーション再生、または静止画再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続けます。押ししている間、標準モードの場合は9倍、3倍モードの場合は11倍の速度で再生されます。ボタンを離すと通常の再生モードになります。

- 早送り再生/巻戻し再生中には音声は聞こえません。

静止画再生

再生またはスローモーション再生中に一時停止/静止ボタンを押します。再度押すと、通常の再生モードになります。

- 静止画再生中にノイズが出る時は、スローモーション再生にしてトラッキング調整ボタンを使ってノイズが最小になるように調整してから静止画再生にします。



- 静止画再生を約5分以上続けると、テープとビデオヘッドを保護するために本機は自動的に停止になります。
- 静止画再生中に画像が歪むことがありますが、故障ではありません。
- 静止画再生中には音声は聞こえません。
- 静止画再生中に画像が白黒になったり、画像が暗くなる場合がありますが故障ではありません。

モードロックスイッチ

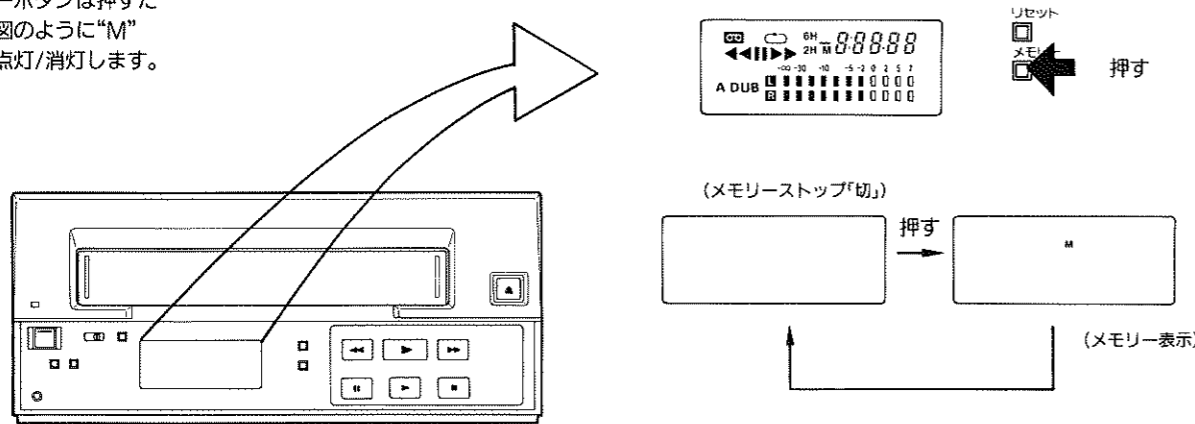
動作中のモードから他のモードへの移行を禁止するスイッチです。モードロックスイッチを「入」にしますと、電源スイッチと操作ボタンは操作できません。ただし、リモコンからの操作は可能です。

自動再生/自動巻戻し

- ① カセットインスイッチを「再生」または「巻戻し」にします。
- ② 本機にテープを入れます。
 ●テープ挿入後、自動的に再生または巻戻しが始まります。

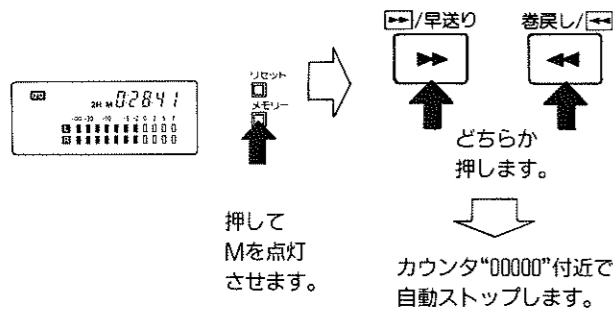
カウンタ部

メモリーボタンについて
メモリーボタンは押すたびに右図のように“M”表示が点灯/消灯します。



メモリーストップ

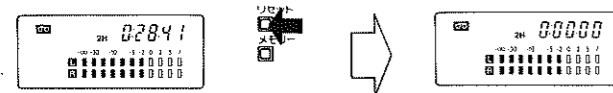
メモリーボタンを押してカウンタに“M”表示を点灯させているときに巻戻しまたは早送りをすると、テープはカウンタ表示“00000”付近で自動的に停止します。



- 2H (標準モード) で記録したテープの検索のときに使用してください。

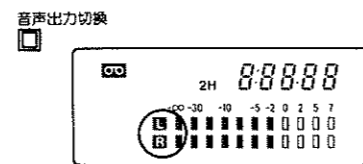
カウンタリセット

リセットボタンを押すと、カウンタの表示は“00000”になります。



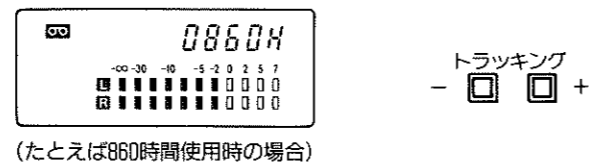
音声出力

本機の電源を入れると、自動的にHi-Fiモードとなります。(カウンタに□と□が両方点灯します。) 希望する音声に切り換える場合は、音声出力切換ボタンで選択してください。



アワーメータ表示

停止モード時にトラッキング調整ボタンの「-」と「+」ボタンを同時に押すと、総使用時間(シリンダの総回転時間)がカウンタに表示されます。



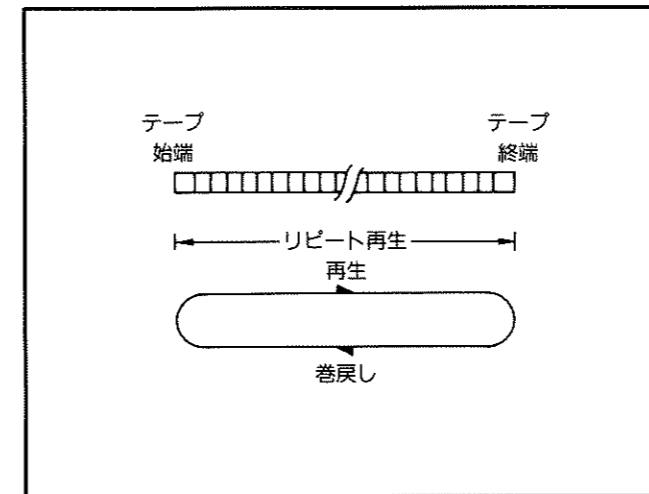
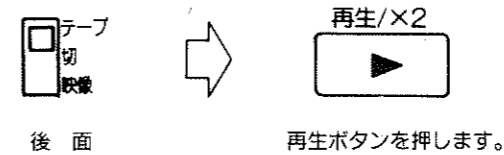
リピート再生

- 本機のタイマースイッチを「再生」にします。
- 本機のメモリーストップを「切」にします。

テープ始端とテープ終端の間でのリピート再生

テープ始端と終端の間でリピート再生を行なう時は、次の操作をします。

- ① オートリピート/オートリwindスイッチを「テープ」にします。
- ② 再生ボタンを押します。

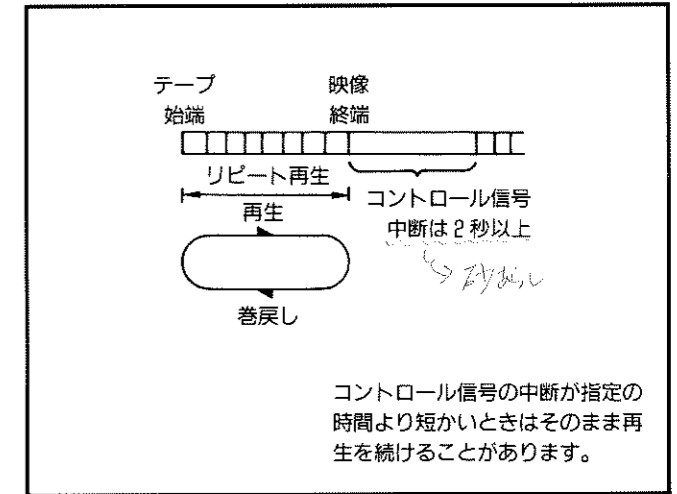
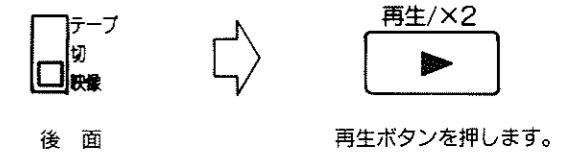


- シリアル/シリーズ再生切換スイッチを「シリアル」にします。

テープ始端と映像終端の間でのリピート再生

テープ始端と映像信号の終端の間でリピート再生を行なう時は、次の操作をします。

- ① オートリピート/オートリwindスイッチを「映像」にします。
- ② 再生ボタンを押します。



- ノート
- 短い区域内でのリピート再生を繰り返さないように、画像が悪くなる場合があります。

- リピート再生の設定が完了すると、カウンタに“⊞”表示が点灯します。
- 停電などで本機が停止しても、通電後自動的にリピート再生が始まります。

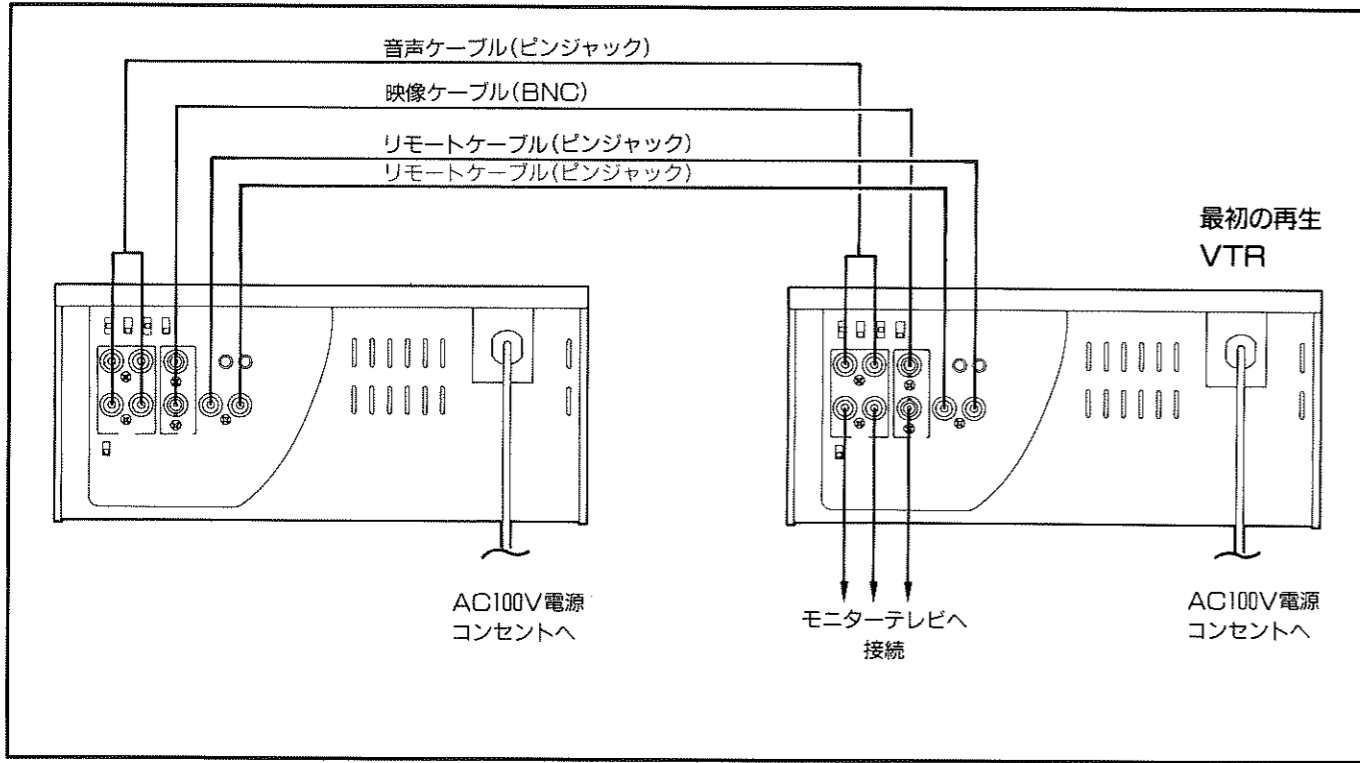
- リピート再生をご使用になる場合は、下記のパナソニックビデオテープのご使用をおすすめ致します。
- NV-T120シリーズ
 - NV-T60シリーズ
 - NV-T90シリーズ
 - NV-T30シリーズ

リピート再生/シリーズ再生などの苛酷な条件で使用される場合は、約250回を目安にテープの交換をおすすめいたします。

シリーズ再生

下図のように接続した2台のビデオの一方が再生を終えると、もう一方のビデオが再生を開始します。ビデオをオートリwindモード（テープ終端/映像終端の選択）にすることにより、交互にリピート再生を行ないます。

- テープ始端と終端の間でリピート再生を行なう時は、オートリピート/オートリwindスイッチを「テープ」にします。
- テープ始端と映像信号の終端の間でリピート再生を行なう時は、オートリピート/オートリwindスイッチを「映像」にします。
- 後に再生するビデオのリモート出力端子にリモートケーブルを接続しない場合は、1回だけのシリーズ再生になります。



操作

- ① シリアル/シリーズ再生切換スイッチを「シリーズ再生」にします。
- ② 録画済テープを入れます。
- ③ それぞれのVTRの再生したい開始点をさがします。
- ④ 最初に再生したいVTRの再生ボタンを押します。

再生はリピート再生と同様に行なわれます。詳しくは、「リピート再生」の項目を参照してください。

ノート

- リモート入力/出力端子をシリーズ再生およびシリアルリモートコントロール以外の目的に使用すると、故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

シリーズ再生をご使用になる場合は、下記のパナソニックビデオテープのご使用をおすすめ致します。

- NV-T120シリーズ
- NV-T60シリーズ
- NV-T90シリーズ
- NV-T30シリーズ

リピート再生/シリーズ再生などの苛酷な条件で使用される場合は、約250回を目安にテープの交換をおすすめいたします。

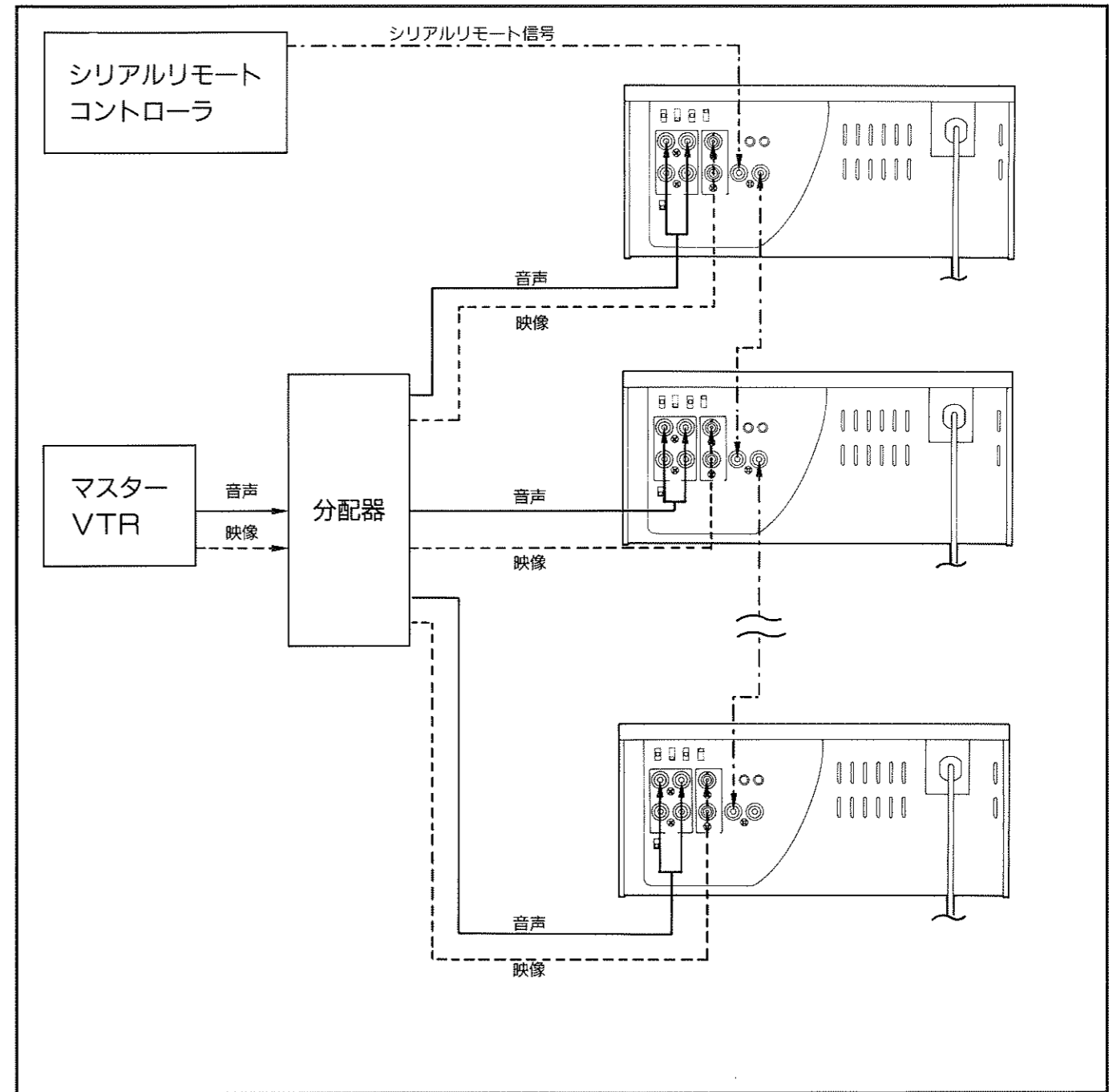
シリアルリモートコントロール

下図のように別売のシリアルリモートコントローラを使用しますと、再生などのリモートコントロール操作を行なうことができます。

詳しくは、販売店でご相談ください。

準備

- カセットインスイッチを「切」にします。
- タイマースイッチを「切」にします。
- シリアル/シリーズ再生切換スイッチを「シリアル」にします。



ノート

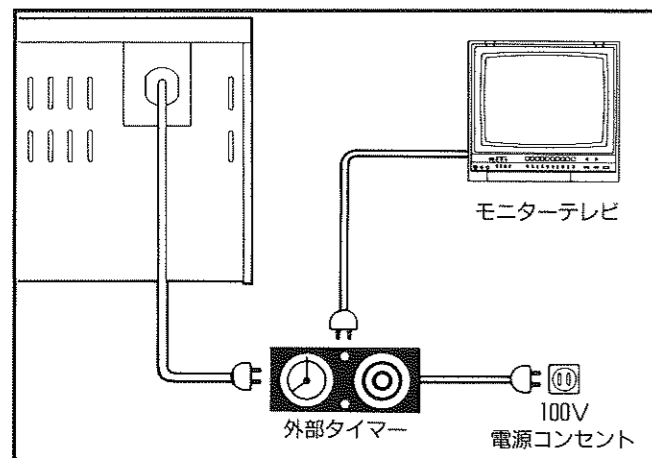
リモート入力/出力端子をシリーズ再生およびシリアルリモートコントロール以外の目的に使用すると、故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

リモートコントローラ

前面のリモコン端子に別売のリモートコントローラAG-A11を接続しますと、本機の操作ボタンに代わって離れた所から本機を動作させることができます。

タイマー再生

別売の外部タイマーを本機に接続しますと、タイマー再生ができます。



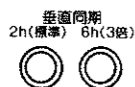
- 1 タイマーを希望の時刻に合わせます。
(タイマーの取扱説明書を参照してください。)
テープがシリンダ部に装着される時間を考慮して、タイマーの開始時刻を再生が始まる時刻より1分程早めにしておきます。
- 2 本機のタイマースイッチを「再生」にします。
タイマーの電源が「入」になっていることを確認します。
- 3 タイマー開始時刻になるとVTRに電源が入り、自動的に再生を始め、終了時刻になると電源が切れ、テープはシリンダに装着したままで停止します。
(再び電源が入った場合、VTRは一旦停止モードになりますが、再びタイマーモードになります。)
テープ保護のために、必ず使用テープ時間よりも10分程度プラスした時間でタイマーの「切」設定を行ってください。
たとえばNV-T120のときは約130分です。
●タイマー再生をやめるには停止ボタンを押します。

準備

- 本機とモニターテレビの電源を入れます。
- テープを入れます。
- 外部タイマーを上図のように接続します。

V-LOCK (垂直同期) 調整

静止画再生中に画像が上下に小さく揺れる場合は、後面の垂直同期調整ボリュームで調整してください。通常はさわらないでください。



使用上および保管上のお願い

使用上のお願い

- 磁気
磁気を近づけたり、強い磁気を発生する機器の近くでは使用しないでください。
- 温度
極端に暑いところ、極端に寒いところ、直射日光の当たるところでの使用は性能を悪くする恐れがありますので、絶対に避けてください。

(設置条件)

- できるだけ温度変化の少ない所で使用ください。急激な温度変化によりテープ走行面に露が付きテープが走行しなくなる場合があります。

■お手入れについて

お手入れ前に電源スイッチを「切」にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
キャビネットの清掃はやわらかい布で行なってください。
汚れがひどいときは台所用洗剤を薄め、布に浸して軽く絞り、汚れをふきとったのち、乾いた布で仕上げをしてください。またシンナーやベンジンはご使用にならないでください。

保管上のお願い

1. 極端に温度の高い場所、低い場所では保管しないでください。
2. 屋外に放置することは絶対に避けてください。

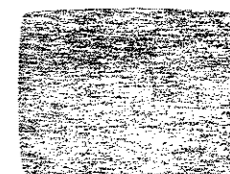
露付表示 “d”

露付表示 “d” が点灯すると、本機内部に露が発生したことを示し、取出しボタン以外の操作ボタンを押しても本機は全く動作しなくなります。カセットテープを取出し、電源を入れたままで “d” 表示が消えるまで (2~3時間程度) お待ちください。



d 表示が点灯します。

ヘッドクリーニングについて



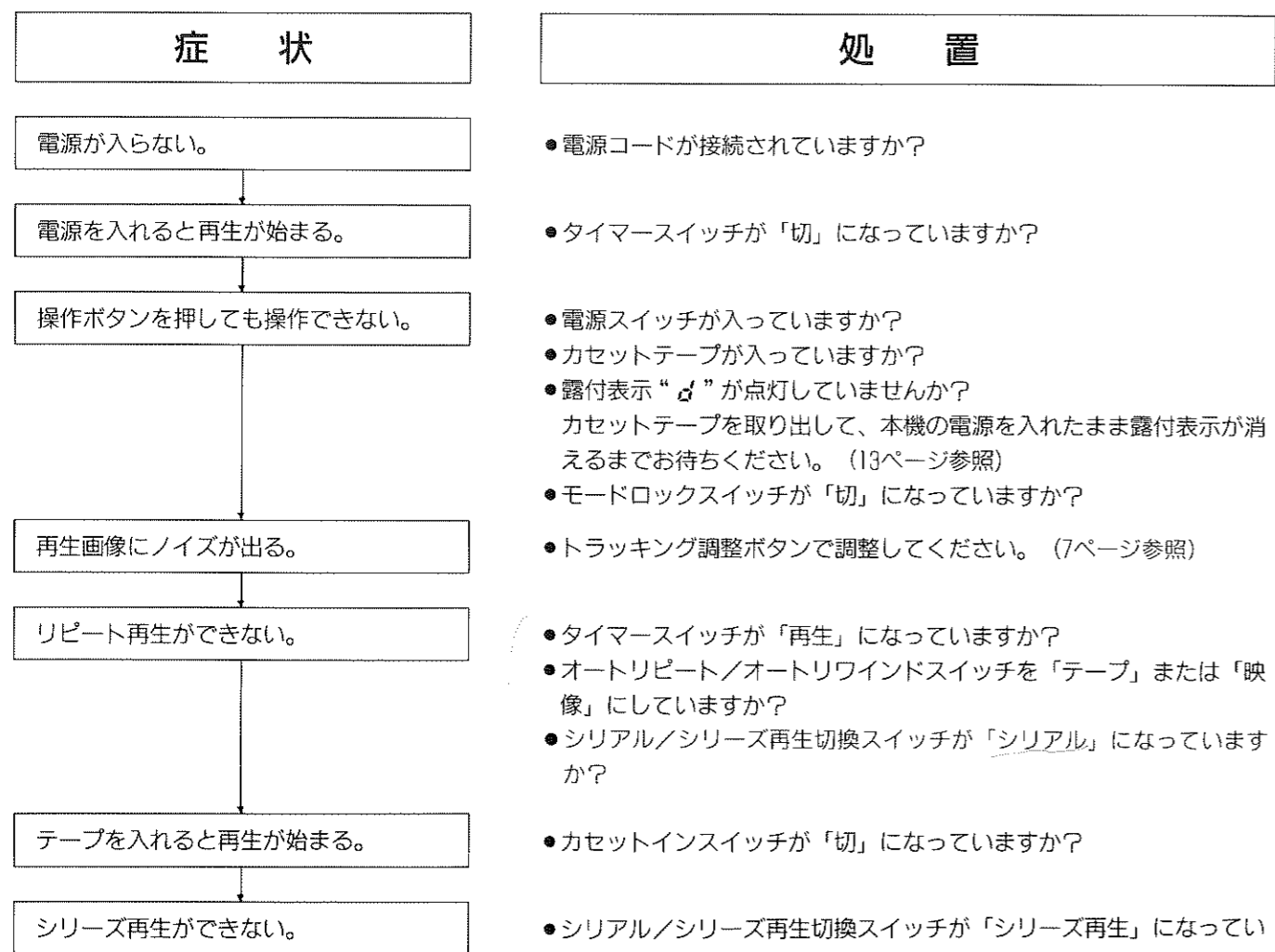
上のような症状があらわれたときはビデオヘッドがよごれています。別売のクリーニングテープ(NV-TCLA)をご使用になってビデオヘッドを清掃してください。
なお、なおらないときには、販売店にご相談ください。

ご注意

- ヘッドクリーニングを何度も行ないますとビデオヘッドの寿命が短くなりますのでご注意ください。

故障かな!?と思われましたら

下記の項目を点検していただき、それでもなお異常のある時は販売店にご相談ください。



アフターサービスについて

1. 保証書—内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2. 保証期間—1カ年

取扱説明書及び本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき販売店で「無償修理」させていただきます。

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
- (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合、その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
- (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
- (ヘ) 別に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷

3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

4. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな!?と思われましたら」の項を点検していただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。

5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

※摩耗性部品とは下記部品類です。

- | | |
|---------|---------|
| ●ビデオヘッド | ●各種ベルト |
| ●ピンチローラ | ●ゴムプリー類 |
| ●各種プレーキ | ●ローラ類 |
| ●モータ類 | ●ヘッド類 |

定期保守サービスのおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラ、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は使用時間が経過するにつれて摩耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ほこり、ごみなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に従来の故障発生時に行なうアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス(メンテナンス)を定期的に行なうことが非常に大切であるといえます。

定期保守サービス(有料扱い)については、お買い上げの販売店にご相談ください。